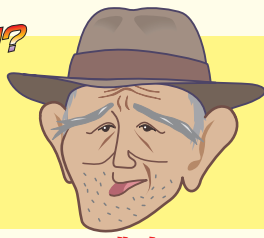




Historical / Natural heritage
in Amagi town

カズホ・ジョーンズ!?



何を食べたか謎の大集落 とうばる 塔原遺跡

塔原遺跡の発見者はなんと、地元**農家のおじさん**です。面積は**35,000㎡=3.5ha**ほどで、兼久集落の西側、東シナ海に臨む標高80メートルほどの台地上にあります。現在は畑に戻っていますが、およそ2,900年前の集落跡で、31軒の竪穴式住居跡が見つかりました。向井一雄さんが昭和59年(1984年)に遺跡を発見してすぐ、県の圃場整備の対象地域となり、破壊の危機が迫ります。昭和62年、天城郷土研究会を中心に兼久住民が保護に立ち上がり、町と町教育委員会へ調査要望書を提出、それきっかけに官民一体の発掘調査へとつながっていきました。



発掘現場の説明会(2012年10月)

国土地理院・基盤地図情報より作成

出土した磨石(すりいし)などから、ドングリやユリ根のデンプンが見つっていますが、骨や貝殻がほとんど出土していません。一方、石の矢じりは出土しており...どのような肉類を食べていたのか謎です!



土器、石器などが多数出土しています



土器の出土は多いものの、復元できるのは稀です



天城中学校生徒による、本格的な発掘体験!

今も石器はみつかる!?



これ...石器かな!?

と感じたら、ユイの館で鑑定してもらおう!

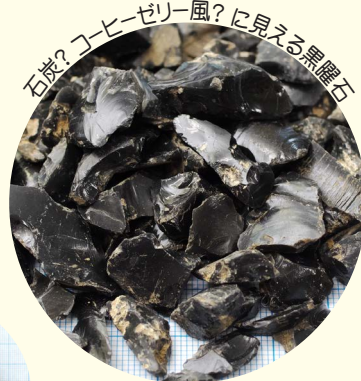
磨製のノミ? (ユイの館収蔵)



磨製の石斧 (ユイの館収蔵)



磨石 (ユイの館収蔵)



石炭? コーヒーゼリー風? に見える黒曜石

黒曜石は腰岳産!

向井さんが集めた黒曜石は、なんと南西諸島で最多、**300点以上**です。



佐賀県・腰岳

徳之島

腰岳から海を隔て
600キロ以上

沖縄本島

もっと情報が見られる
電子版はこちら



塔原の竪穴住居は1K?

中央にかまどがあり、家族が座って眠る一軒家?

